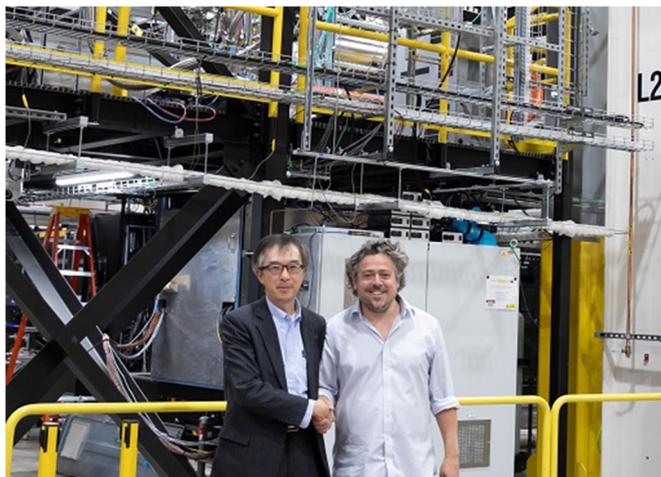


米 Zap Energy への出資参画について ～持続可能なクリーンエネルギー開発を通じた 社会・お客さまのカーボンニュートラル実現を目指して～

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：木原 正裕）は、このたび、核融合（フュージョン）エネルギー技術の開発を行う、アメリカの Zap Energy（CEO：Benj Conway）に出資しました。

本件は、当社傘下の投資専門子会社であるみずほイノベーション・フロンティア株式会社（代表取締役社長：池田 淳一）を通じて実施しています。



1. 出資の目的

カーボンニュートラルの実現に向けては、エネルギー転換等を進めていきつつ、脱炭素分野で新たな需要・市場を創出し、日本の産業競争力を再び強化することが重要です。

フュージョンエネルギーは、軽い原子核同士が融合し重い原子核に変化する際に放出される莫大なエネルギーであり、温室効果ガスが排出されない持続可能なエネルギー源として、エネルギー転換に向けたゲームチェンジャーになり得る可能性を秘めています。

〈みずほ〉はこれまで、みずほ銀行産業調査部レポート「核融合発電を取り巻く足下の動向 ～核融合発電実用化に向けた道筋～」(※1)、みずほリサーチ&テクノロジーズ技報「核融合を理解する ～地上に「太陽」をつくる技術～」(※2) 発行などを通じ、本技術に対する技術・業界動向への理解を深めてきました。

今回出資した Zap Energy は、核融合発電方式のひとつである Z ピンチを活用し商用化に取り組む米国企業で、2017 年にワシントン大学とローレンス・リバモア国立研究所の共同研究機関がスピナウトする形で設立されました。当社の目指す核融合炉は、超電導磁石を使用しないため、理論上は小型でシンプルな設計が可能であり、商用化が実現した場合の汎用性や経済性における競争優位性が特徴です。

〈みずほ〉では、Zap Energy への出資をはじめとするチャレンジングな取り組みと、これまでの知見・経験を融合し、脱炭素分野での新たな需要・市場の創出による日本の産業競争力強化に貢献すると同時に、社会やお客様のカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

2. 両社のコメント

➤ Zap Energy CEO Benj Conway

〈みずほ〉は、Zap Energy にとって初となる日本の投資家として、フュージョンエネルギーにとって重要なマーケットのひとつである日本へ、当社のユニークなコンパクト技術を導入するための支援をしています。私たちは、初となる送電網へのフュージョンエネルギーの供給実現を目指して、〈みずほ〉と〈みずほ〉のお客さまと一緒に取り組めることを、大変嬉しく思います。

➤ みずほフィナンシャルグループ グループ CSu0 牛窪 恭彦

この度、Zap Energy とのパートナーシップを通じて、フュージョン技術の発展に寄与できることを大変光栄に思います。フュージョン技術は、安全かつ持続可能なエネルギー供給の未来を切り拓く鍵となり、世界のエネルギー問題解決に向けた大きな一歩となると確信しております。〈みずほ〉は、社会やお客様のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを積極的に支援することで、より良い未来への貢献を目指します。

【Zap Energy の概要】

会社名	Zap Energy Inc.
本社	米国
代表者	Benj Conway
設立	2017 年
事業	フュージョンエネルギー技術及び関連技術の開発

※1 みずほ銀行産業調査部「【革新的技術シリーズ】核融合発電を取り巻く足下の動向 ～核融合発電実用化に向けた道筋～」

2024 年 3 月 19 日公表 https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/industry/sangyou/pdf/mif_244.pdf

※2 みずほリサーチ&テクノロジーズ「核融合を理解する ～地上に「太陽」をつくる技術～」

2023 年 3 月 10 日公表

https://www.mizuho-rt.co.jp/publication/giho/pdf/mhrt002_10.pdf

以上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO